

アンケート調査設問一覧表 ⑧介護事業所従事者調査（従事者）

項番	対応	質問	回答種別	回答	前回調査の結果
【基本的事項及び就労状況や就労意識についておうかがいします】					
1		令和5年4月1日現在のあなたの年齢を記入してください。	数字	満（ ）歳	
2		あなたの性別をお答えください。	単一	1. 男性 2. 女性 3. その他	
3		あなたのお住まいはどちらですか。	単一	1. 松戸市内 2. 千葉県内松戸市外（ ） <input type="checkbox"/> 3. 東京23区 4. その他（ ）	
4		あなたと同居されている方はどなたですか。	複数	1. 同居人なし（独り暮らし） 2. 配偶者 3. 子（未就学児） 4. 子（小中学生） 5. 子（高校生以上） 6. 親（65歳未満） 7. 親（65歳以上） 8. その他（ ）	
5		あなたが現在働いている（調査票が配布された）事業所・施設を運営する法人の種別は次のうちどれですか。	単一	1. 民間営利法人 2. 社会福祉法人 3. 医療法人 4. NPO法人 5. 社団法人・財団法人 6. その他（ ） 7. わからない	
6		あなたが現在働いている事業所・施設では、施設長・管理者を含めて約何人が働いていますか。	単一	1. 10人未満 2. 10人以上20人未満 3. 20人以上30人未満 4. 30人以上40人未満 5. 40人以上50人未満 6. 50人以上	
7		あなたが現在働いている事業所・施設における、あなたの雇用形態はどれですか。	単一	1. 正規職員 2. 非正規職員（嘱託職員、契約職員、臨時職員、パート等） 3. 非正規職員（派遣職員）	「正規職員」48.2% 「非正規職員」47.9%
8		（下記①は、項番7で「2」「3」（非正規職員）と回答した方のみ、お答えください。） ①正規職員として働きたいですか。	単一	1. はい 2. いいえ	「はい」88.9%

アンケート調査設問一覧表 ⑧介護事業所従事者調査（従事者）

項番	対応	質問	回答種別	回答	前回調査の結果
9		(下記i)は、①で「2. いいえ」と回答した方のみ、お答えください。 i) 正規職員として働きたくない理由は何ですか。	複数	1. 自分の都合のいい時間に働けるから 2. 簡単な仕事で責任が軽いから 3. 家庭の事情や趣味等と両立しやすいから 4. 扶養の範囲内で働きたいから 5. 体力的に正社員として働けないから 6. その他 ()	
10		現在働いている事業所・施設における勤務状況として、以下の①～④のひと月あたりの状況についてお答えください。	数字	① 平均勤務日数 月あたり () 日 ② 平均勤務時間 (超過勤務時間を含む) 月あたり () 時間 ③ 平均超過勤務時間 月あたり () 時間 上記のうち超過勤務手当がない超過勤務時間 月あたり () 時間 ④ 平均深夜勤務回数 月あたり () 回	
11		現在働いている事業所・施設における在籍年数と、以前の勤務先を含めた介護サービスの仕事に携わってからの通算経験年数をお答えください。 (令和5年4月1日現在)	数字	① 現在働いている事業所・施設における在籍年数 約 () 年 () か月 ② 介護サービスの仕事に携わってからの通算経験年数 約 () 年 () か月	
12		あなたが現在働いている事業所・施設における具体的な職種はどれですか。	複数	1. サービス提供責任者 2. 介護支援専門員 3. 2以外のサービス計画作成担当者 4. 看護職員 5. 訪問介護員 (ホームヘルパー) 6. 介護職員 7. 理学療法士 (PT) 8. 作業療法士 (OT) 9. 言語聴覚士 (ST) 10. 機能訓練指導員 11. 生活相談員・支援相談員 12. その他 ()	
13		あなたが現在お持ちの保健医療福祉関係の資格と、今後取得したいと思う保健医療福祉関係の資格をお答えください。 ① 介護支援専門員	単一	1. お持ちの資格に○ 2. 今後取得したいと思う資格に○	
14		② 主任介護支援専門員	単一	1. お持ちの資格に○ 2. 今後取得したいと思う資格に○	
15		③ 看護師	単一	1. お持ちの資格に○ 2. 今後取得したいと思う資格に○	
16		④ 准看護師	単一	1. お持ちの資格に○ 2. 今後取得したいと思う資格に○	
17		⑤ 社会福祉士	単一	1. お持ちの資格に○ 2. 今後取得したいと思う資格に○	

アンケート調査設問一覧表 ⑧介護事業所従事者調査（従事者）

項番	対応	質問	回答種別	回答	前回調査の結果
18		⑥ 介護福祉士	単一	1. お持ちの資格に○ 2. 今後取得したいと思う資格に○	「介護福祉士」50.0%
19		⑦ 実務者研修（旧ホームヘルパー1級）	単一	1. お持ちの資格に○ 2. 今後取得したいと思う資格に○	
20		⑧ 介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）	単一	1. お持ちの資格に○ 2. 今後取得したいと思う資格に○	「介護職員初任者研修」52.4%
21		⑨ その他（ ）	単一	1. お持ちの資格に○ 2. 今後取得したいと思う資格に○	
22	追加	⑩ 特になし	単一		
23		あなたが現在働いている事業所・施設（兼務している場合は主たる事業所・施設）の種別は次のうちどれですか。	単一	1. 居宅介護支援事業所 2. 訪問介護事業所 3. 訪問入浴介護事業所 4. 訪問看護事業所 5. 訪問リハビリテーション事業所 6. 広域型通所介護事業所 7. 地域密着型通所介護事業所（療養通所含む） 8. 通所リハビリテーション事業所 9. 短期入所生活介護事業所 10. 短期入所療養介護事業所 11. 広域型特別養護老人ホーム 12. 地域密着型特別養護老人ホーム 13. 介護老人保健施設 14. 介護医療院 15. グループホーム 16. 小規模多機能型居宅介護事業所 17. 看護小規模多機能型居宅介護事業所 18. 認知症対応型通所介護事業所 19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 20. 特定施設入居者生活介護事業所 21. その他（ ）	
24		あなたは同一法人内の他の事業所・施設で兼務していますか。	単一	1. はい 2. いいえ	他の事業所・施設と兼務している割合 10.0%

アンケート調査設問一覧表 ⑧介護事業所従事者調査（従事者）

項番	対応	質問	回答種別	回答	前回調査の結果
25		現在働いている事業所・施設において、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。雇用期間が1年未満の方は、1年間の年収を想定してお答えください。	単一	1. 103万円未満 2. 103万円以上130万円未満 3. 130万円以上200万円未満 4. 200万円以上250万円未満 5. 250万円以上300万円未満 6. 300万円以上350万円未満 7. 350万円以上400万円未満 8. 400万円以上500万円未満 9. 500万円以上600万円未満 10. 600万円以上	
26		あなたが現在働いている事業所・施設以外に、兼業（同一法人内での仕事は除く）している仕事がありますか。	単一	1. 介護関係の仕事を兼業している 2. 介護関係以外の仕事を兼業している 3. 兼業していない	現在働いている事業所・施設以外に兼業している仕事があると回答した割合9.9%
27		（下記①は、項番26で「1」「2」（兼業している）と回答した方のみ、お答えください。） ①兼業を含めた、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。	単一	1. 103万円未満 2. 103万円以上130万円未満 3. 130万円以上200万円未満 4. 200万円以上250万円未満 5. 250万円以上300万円未満 6. 300万円以上350万円未満 7. 350万円以上400万円未満 8. 400万円以上500万円未満 9. 500万円以上600万円未満 10. 600万円以上	
28		あなたが現在働いている施設及び事業所等に就職した主な理由は何ですか。	複数 3つまで	1. 給与（賃金）がよかったため 2. 通勤の便がよかったため 3. 都合の良い時間（日）に働けるため 4. 自分がやりたいサービスだったから 5. 既に働いている人から勧められたため 6. 人間関係が良さそうな雰囲気だったから 7. その他（ ） 8. 特に理由はない	
29		あなたが現在働いている施設及び事業所に限らず、介護の仕事を選んだ主な理由は何ですか。	複数 3つまで	1. 都合の良い時間（日）に働けるため 2. この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたため 3. やりがいを感じられる職業だと思ったため 4. 福祉の仕事に興味、関心があったため 5. 資格、技能を生かすため 6. その他（ ） 7. 特に理由はない	「福祉の仕事に興味、関心があったため」が最も多く40.1%、次いで「やりがいを感じられる職業だと思ったため」が36.7%

アンケート調査設問一覧表 ⑧介護事業所従事者調査（従事者）

項番	対応	質問	回答種別	回答	前回調査の結果
30		あなたは介護業界内での転職経験がありますか。	単一	1. 1回ある 2. 2回ある 3. 3回以上ある 4. なし（新卒、他業界からの転職）	転職経験について「ある」と回答した割合 54.6%
31		（下記①～②は、項番30で「1」「2」「3」（1回以上ある）と回答した方のみ、お答えください。） ①あなたが施設及び事業所等を離職したのは主にどのような理由からですか。	複数	1. 能力や実績に照らして、給与（賃金）や手当が低い 2. 業務量、労働時間、超過勤務が多い 3. 勤務ローテーションやシフトが不規則なため 4. 有給休暇や特別休暇等が取りにくい 5. キャリアアップ・研修制度・資格取得等の人材育成が不十分 6. 人員不足による、個々の責任の負担が大きい 7. 夜間や深夜時間帯の勤務における緊急対応への不安がある 8. 身体的負担が大きい（体力に不安がある） 9. 精神的負担が大きい 10. 介護保険事業に対する社会的評価が低い 11. 職場の人間関係が難しい 12. 利用者との人間関係が難しい 13. 重病の利用者や看取りに対する負担が大きい 14. その他（ ）	
32		②あなたが現在働いている施設及び事業所等に転職する前は、過去にどの地域で働いていましたか。	複数	1. 松戸市内 2. 松戸市に近接している市（柏市・流山市・鎌ヶ谷市・市川市） 3. その他千葉県内市町村 4. 東京都 5. 埼玉県 6. 茨城県 7. その他（ ）	

アンケート調査設問一覧表 ⑧介護事業所従事者調査（従事者）

項番	対応	質問	回答種別	回答	前回調査の結果
33		介護事業所・施設における離職防止や就業定着のための方策で、特に効果が高いと思うものはどれですか。	複数 3つ まで	<ol style="list-style-type: none"> 1. 能力や実績に応じた役職や給与体系（キャリアアップの仕組み）を構築すること 2. 超過勤務手当等の諸手当の支給を充実させること 3. 人材育成のための研修・資格取得制度を構築すること 4. 規則的な勤務ローテーションやシフト体制等を確立すること 5. ICT（電子データによるコンピュータ処理等情報通信技術）等の導入による書類作成の軽減等、事務作業の効率化、省略化を図ること 6. 育児・介護の休暇等の福利厚生や資格取得支援等の体制を充実させること 7. 研修や相談体制の確立により、メンタルヘルスケアを充実させること 8. カスタマー・ハラスメント（利用者や家族等からの身体的暴力や精神的暴力、セクシュアル・ハラスメント）の対策研修等の対応体制 9. 職場内のハラスメント（セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント）対策研修等の対応体制 10. 面談等でコミュニケーションを図り、職場内の人間関係を良好にすること 11. 苦情等のトラブル対応への組織的サポート体制を整備すること 12. その他（ ） 13. どの方策も効果が上がらないと思う 14. わからない 	「能力や実績に応じた役職や給与体系（キャリアアップの仕組み）を構築すること」が最も多く60.9%、次いで「超過勤務手当等の諸手当の支給を充実させること」が44.5%
34		あなたの日頃の業務を軽減・効率化するためには何が必要ですか。	複数 3つ まで	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護記録をはじめとした介護事務の標準化・簡略化 2. ワークシェアリング（介護助手の配置等） 3. 介護記録等ICT導入（介護記録のシステム化等） 4. 介護センサー、ロボット導入（マッスルスーツ、排泄支援機器、見守り支援機器等） 5. 業務改善のための外部からのアドバイザー派遣 6. その他（ ） 7. わからない 	
35	追加	タスクシェア・タスクシフティング※が有効だと感じる業務は何ですか。 ※タスクシェア・タスクシフティングとは、介護職の業務を明確化し、介護職員の業務の一部を、介護助手やボランティア等へ移管・共同実施することを指しています。	複数	<ol style="list-style-type: none"> 1. 居室や施設の清掃 2. 備品の準備・片付け・補充作業 3. ベッドメイキング 4. 洗濯・洗濯物の回収・配布 5. その他（ ） 6. 有効だとは思わない 7. わからない（介護職の業務の明確化・切り分けができていない） 	

アンケート調査設問一覧表 ⑧介護事業所従事者調査（従事者）

項番	対応	質問	回答種別	回答	前回調査の結果
36		あなたが現在働いている事業所・施設において人事評価や役職・給与の決定は、何に基づいて行われていると思いますか。	複数	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護技術・マネジメント等の能力や実績 2. 資格の取得状況、研修の受講状況 3. 介護職としての経験年数 4. 自らの組織での経験年数 5. 年齢 6. 従業員自身による自己評価 7. その他（ ） 8. わからない 9. 指標に基づいて行われていない 	「資格の取得状況、研修の受講状況」が34.5%、次いで「介護職としての経験年数」が29.6%
37		あなたが現在働いている事業所・施設において人材育成のために、どのような取組みが行われていますか。	複数	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の育成計画の作成 2. 外部研修や資格取得のための講義等を受講できる人員体制の整備 3. 外部研修受講や資格取得に要する費用の助成 4. OJT（職場での仕事の経験を通じた職業訓練）の仕組みの構築 5. 評価項目に基づく人事評価の実施 6. 人事評価や研修についての従業者の意見の聴取 7. その他（ ） 8. わからない 9. 取り組みは行われていない 	「わからない」との回答が最も多く26.4%
38		あなたが日常提供しているサービスの中には、利用者家族や地域住民にもできると思うことはありますか。	単一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者家族にもできることはあると思う 2. 地域住民にもできることはあると思う 3. 利用者家族や地域住民ともにできることはあると思う 4. 利用者家族や地域住民が協力すればできると思う 5. 利用者家族にも地域住民にもできないと思う 6. わからない 	「利用者家族や地域住民ともにできることはあると思う」と回答した割合は29.9%
39		下記①は、項番38で「1」「2」「3」「4」（できることはあると思う）と回答した方のみ、お答えください。 ①どのようなことができると思いますか。	複数	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調理・配膳 2. ゴミ出し 3. 掃除・洗濯 4. 安否確認 5. 買い物 6. その他（ ） 	
40		介護職のイメージについて6年前（平成29年）頃と比較して変わったと思いますか。	単一	<ol style="list-style-type: none"> 1. かなり良くなった 2. 良くなった 3. かわらない 4. 悪くなった 5. かなり悪くなった 	「かなり良くなった」「良くなった」と回答した割合は15.9%
41		あなたが現在働いている事業所・施設において、これまでに利用者や家族から暴力やハラスメントを受けたことはありますか。	単一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受けたことがある 2. 受けたことがない 	ハラスメントを「受けたことがある」と回答した割合は45.6%

アンケート調査設問一覧表 ⑧介護事業所従事者調査（従事者）

項番	対応	質問	回答種別	回答	前回調査の結果
42		下記①～③は、項番41で「1. 受けたことがある」と回答した方のみ、お答えください。 ①その内容として、あてはまるものを教えてください。	複数	1. 身体的暴力（例：物を投げつけられる、唾を吐かれるなど） 2. 精神的暴力（例：攻撃的な態度で大声を出される、人格を否定される発言をされるなど） 3. ハラスメント（例：セクシュアルハラスメント・カスタマーハラスメントなど） 4. その他（ ）	
43		②その際、誰かに相談しましたか。	単一	1. 相談した 2. 相談しなかった	誰かに「相談した」割合は74.4%
44		下記③は、項番43で「1. 相談した」と回答した方のみ、お答えください。 ③その際に相談した相手を教えてください。	複数	1. 管理者・施設長 2. 上司 3. 公的機関 4. 職場の同僚 5. 労働組合 6. 部下 7. 所属法人の相談窓口 8. 友人・知人・家族 9. その他（ ）	「職場の同僚」が最も多く61.2%となっており、次いで「上司」が54.0%
45		あなたが現在働いている事業所・施設において、同僚や上司等から暴力やハラスメント行為を受けたことがありますか。	複数	1. 受けたことがある 2. 受けたことがない	「受けたことがある」と回答した割合は23.2%
46		下記①～③は、項番45で「1. 受けたことがある」と回答した方のみ、お答えください。 ①その内容として、あてはまるものを教えてください。	複数	1. 身体的暴力（例：物を投げつけられる、唾を吐かれるなど） 2. 精神的暴力（例：攻撃的な態度で大声を出される、人格を否定される発言をされるなど） 3. ハラスメント（例：セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント・マタニティハラスメント） 4. その他（ ）	
47		②その際、誰かに相談しましたか。	単一	1. 相談した 2. 相談しなかった	誰かに「相談した」割合は62.2%
48		下記③は、項番47で「1」（相談した）と回答した方のみ、お答えください。 ③その際に相談した相手を教えてください。	複数	1. 管理者・施設長 2. 上司 3. 公的機関 4. 職場の同僚 5. 労働組合 6. 部下 7. 所属法人の相談窓口 8. 友人・知人・家族 9. その他（ ）	「職場の同僚」が最も多く57.7%となっており、次いで「友人・知人・家族」が37.9%

アンケート調査設問一覧表 ⑧介護事業所従事者調査（従事者）

項番	対応	質問	回答種別	回答	前回調査の結果
49		仕事をする上での不安な点は何ですか。	複数	<ol style="list-style-type: none"> 1. 金銭面について自分の将来の見込みが立たないこと 2. 身体的・体力的に続けられるかどうかということ 3. 精神的に続けられるかどうかということ 4. 介護事故で利用者に怪我を負わせてしまう可能性があること 5. 感染症等のリスクがあること 6. 職場で利用者・家族からハラスメントを受けてしまうこと 7. 同僚や上司等からハラスメントを受けてしまうこと 8. 虐待してしまいそうだと思ってしまうこと 9. その他（ ） 10. 特にない 	「身体的・体力的に続けられるかどうかということ」が最も多く69.3%、次いで「感染症等のリスクがあること」が52.7%
50		あなたは介護関係の仕事を今後も続けていきたいと思えますか。	単一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今の状況のままでも続けていきたい 2. 労働環境が改善されれば続けていきたい 3. 続けたくない 4. わからない 5. その他（ ） 	「今の状況のままでも続けていきたい」39.7%
51		下記①は、項番50で「2. 改善されれば続けていきたい」と回答した方のみ、お答えください。 ①どういったことが改善されれば続けられると思えますか。	単一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 給与（賃金） 2. 福利厚生 3. 人材育成 4. 人間関係 5. その他（ ） 	「給与（賃金）」を改善してほしいと回答した割合は57.9%
52		あなたが働いている事業所・施設で、高齢者虐待と思われる行為を発見したことはありますか。	単一	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある 2. ない 	「ある」と回答した割合は15.7%
53		下記①は、項番52で「1. ある」と回答した方のみ、お答えください。 ①高齢者虐待と思われる行為を発見した時に、あなたはどのように対応されましたか。	複数	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自ら通報窓口に通報した 2. 施設長等、上司に報告し、対応を求めた 3. 特に何もしていない 4. その他（ ） 	「施設長等、上司に報告し、対応を求めた」と回答した割合は69.1%、「特に何もしていない」と回答した割合は21.7%
54		高齢者虐待が疑われる状況を発見した場合の通報・相談先を知っていますか。	単一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 知っている 2. 知らない 	
55	追加	令和3年度介護報酬改定・基準省令改正によって、すべての介護事業所における高齢者虐待防止のための体制整備等の取り組みが義務化されています。（3年間の経過措置） 貴事業所における高齢者虐待防止に向けた取り組みのうち、実施済のものはどれですか。	複数	<ol style="list-style-type: none"> ①虐待の防止のための対策を検討する委員会の設置 ②虐待の防止のための指針の作成 ③虐待の防止のための従事者に対する研修 ④虐待の防止に関する措置を適切に実施するための担当者 	

アンケート調査設問一覧表 ⑧介護事業所従事者調査（従事者）

項番	対応	質問	回答種別	回答	前回調査の結果
【介護サービスについてお伺いします】					
56		あなたは、利用者に対して自力でできることは自分で行うよう促し、必要時に介助を行うなど、自立支援・重度化防止を意識したケアを行うことを意識していますか。	単一	1. いつも意識している 2. ある程度意識している 3. あまり意識していない 4. 全く意識していない	「いつも意識している」と回答した割合は45.2%となり、「ある程度意識している」を含めると89.4%
57	追加	介護予防における「リエイブルメント」という概念を知っていますか。 リエイブルメントとは：「再び自分でできるようにする」というもので、高齢者が、自立した在宅生活を継続するために、本人の潜在的な力や、活用できる周囲の資源を見出し、自身の生活を自らでコントロールできるような支援を目指すものです。	単一	1. 「リエイブルメント」という概念を知っており、実践できている 2. 「リエイブルメント」という概念は知っているが、実践できていない 3. 「リエイブルメント」という概念事態を知らない	
58	追加	地域住民が介護予防の取組みを実施するにあたり、貴事業所・施設で協力できることはありますか。	複数	1. 場所の提供 2. 物品等の貸出 3. 講師や職員の派遣、体操指導、レクリエーションの企画・実施等 4. 特にない 5. その他（ ）	
【地域連携についてお伺いします】					
59	追加	地域包括支援センターとの連携は図れていますか。	単一	1. 十分できている 2. 概ねできている 3. あまりできていない 4. できていない	
60	追加	地域包括支援センターとのさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。	複数	1. 地域包括支援センターの役割の周知 2. 地域包括支援センターへの相談内容や相談方法の周知 3. 支援困難事例等への同行訪問 4. 担当者会議の出席 5. 地域ケア会議や事例検討への参加 6. 交流会などを通じた関係性構築 7. その他（ ）	
61	追加	地域包括支援センターに困難対応事例や虐待（疑い含む）事例等について相談したことがありますか。	単一	1. 過去1年以内に相談した 2. 1年以上前だが相談したことがある 3. 相談したことがない	
62		医療機関・医療関係者との連携は図れていますか。	単一	1. 十分できている 2. 概ねできている 3. あまりできていない 4. できていない	

アンケート調査設問一覧表 ⑧介護事業所従事者調査（従事者）

項番	対応	質問	回答種別	回答	前回調査の結果
63	追加	医療機関・医療関係者とさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。	複数 3つ まで	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者について医療と介護関係者間で情報共有ができるシステム（連携シートやICT） 2. 医療従事者を含めた多職種でのカンファレンス・会議等の機会 3. 市民への在宅医療についての啓発 4. 在宅医療を提供する医療機関・薬局・訪問看護ステーション等の情報 5. 利用者が入院した際に入院先医療機関との情報共有 6. 利用者の退院にむけた入院先医療機関とのカンファレンスの実施 7. 24時間連絡を対応可能な在宅療養支援病院・診療所の充実 8. 市民へのACP*（アドバンス・ケア・プランニング）についての啓発 <p>ACP*：人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 医療・介護関係者間での利用者のACPについての情報共有 10. 介護関係者におけるACPの学習機会 11. その他（ ） 12. わからない 	
【松戸市への要望についておうかがいします】					
64		施設・事業所の従事者として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。	複数 3つ まで	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険に関する最新・適切な情報提供 2. スキルアップ（育成）のための研修の支援 3. 給付管理等に関する相談体制の充実 4. 事業所への指導・監査の徹底 5. 市民への自立支援や適正なサービス利用についての啓発 6. 処遇困難者への対応 7. 事務手続きの簡略化 8. 介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの見直し 9. ボランティアの育成 10. 認知症に関する啓発 11. 多職種連携への支援 12. 医療介護連携への支援 13. 災害・感染症対策の支援 14. その他（ ） 15. 特になし 	「スキルアップ（育成）のための研修の支援」26.9%、「介護保険に関する最新・適切な情報提供」26.8%
65		高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。	自由 記載		